

報告事項 ナ

とっとりデジタルコレクション公開記念シンポジウムの開催について

とっとりデジタルコレクション公開記念シンポジウムの開催について、別紙のとおり報告します。

令和3年3月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

とっとりデジタルコレクション公開記念シンポジウムの開催について

令和3年3月20日
図 書 館

鳥取県立図書館は、令和3年3月1日に、県立公文書館、県立博物館、県埋蔵文化財センターとともに、デジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」の公開を開始した。デジタルアーカイブシステムの可能性や、デジタル化した資料がどのように活用できるか、講演、ディスカッションを通して考える公開記念シンポジウムを開催した。

1 日 時

令和3年3月14日（日）午後1時から午後3時45分まで

2 会 場 鳥取県立博物館講堂

3 内 容

(1) 開会行事

(2) 記念講演（講演はリモート）

『デジタルアーカイブでつなげる、あなたのまち』

講師：浅野 隆夫氏（札幌市中央図書館利用サービス課長）

(3) 事業報告

『「とっとりデジタルコレクション」について』

鳥取県立図書館情報相談課司書 中村 愛

(4) ディスカッション『「とっとりデジタルコレクション」の可能性と今後の展望』

コーディネーター 田中 健一（鳥取県立公文書館長）

シンポジスト 浅野 隆夫氏（前出）

茶谷 満（鳥取県立博物館学芸課普及担当専門員兼学芸員）

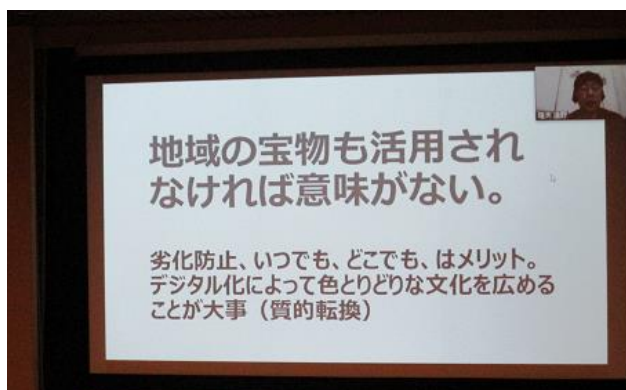
東方 仁史（鳥取県埋蔵文化財センター企画研究担当係長）

中尾有希子（鳥取県立図書館郷土資料課長）

4 参加人数 77名

5 参加者の感想

- ・貴重な資料を抱え持つのではなく、公開することがいろいろな広がりや可能性があることについて、好事例をご紹介いただき、理解につながった。
- ・とにかく利用されることが大切ということがよく分かった。
- ・各館の取組み、デジタルアーカイブの可能性と活用法について具体的なアイデアが出され面白かった。
- ・ICTの今後の展開、GIGAスクール構想による整備で学校図書館が取り残されないよう、こういった県のデジタル化の動きやデジタルソースの活用法について把握し、きちんと紹介できるようにしておく必要があると思う。



【記念講演】



【パネルディスカッション】